

群馬県警生活安全部長から感謝状を拝受

～自動車盗難防止啓発の取り組みを評価～

日本損害保険協会関東支部 群馬損保会(会長：山下佳之・損害保険ジャパン株式会社群馬支店長)では、日頃より群馬県自動車盗難対策協議会の一員として、自動車盗難防止に向けた啓発活動に取り組んでいます。今般、当会の取り組みが警察の業務運営に貢献をしたとして、群馬県警察本部生活安全部長から感謝状が授与されました。

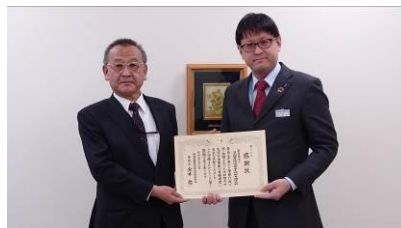
群馬県では、ここ数年自動車盗難が増加しており、令和4年1年間の自動車盗難認知件数は233件で、令和3年の149件に比べ56.4%も増加しております。こうした状況から、当会では群馬県警と連携して、自動車盗難に対する防犯意識を高揚させるために、啓発動画を作成し、県内の街頭モニターで放映しました。本件は、これらの活動が評価され、感謝状が授与される運びとなったものです。

2月7日(火)に損害保険ジャパン株式会社群馬支店会議室において感謝状の授与があり、県警生活安全部西山徹生活安全企画課長から山下会長に感謝状が手渡されました。西山課長からは、「昨年群馬県内では、自動車盗の他、住宅侵入盗などの刑法犯が全体的に増加した。こうした中で、啓発動画を提供して頂き大変ありがたい。自動車盗の手口は日々進化しており、ハンドルロックや防犯カメラの設置など、犯人に盗みにくいと思わせる環境を作ることが重要である。」とコメントがありました。また、山下損保会長は「損保ではドライブレコーダー付き自動車保険を扱っており、ドライブレコーダーやGPSは防犯に大変役立っていると聞いている。今後も自動車盗難防止啓発だけでなく、サイバー犯罪対策や交通安全啓発など、県警と連携しながら活動していきたい。」と述べました。

群馬損保会では、今後も警察や行政と協力し、安全安心な街づくりに向けた取り組みを継続して行っていく予定です。



感謝状授与の様子



西山生活安全企画課長(左)
山下損保会長(右)



作成した啓発動画